

## 国際セミナー

### 高齢期者のもつ運動機能障害 - 高齢期に生じる障害と障害者の高齢化

高齢化が進む中、高齢期の障害と障害のある人々の高齢化の側面から、現状と支援のありかたについて国内外からの発表を行います。国外からは、WHOの見解、中国、韓国における現状発表、国内からは、高齢期における身体機能、障害の経年化、障害がある人の健康増進に関する専門家および障害当事者からの発表を行い、併せてディスカッションを行います。皆様の参加をお待ちしております。

- ・開催日時 平成26年11月8日(土) 13:00~17:30
- ・開催場所 国立障害者リハビリテーションセンター本館1F講堂  
(所沢市並木4-1 西武新宿線航空公園駅東口より徒歩15分)
- ・主催 国立障害者リハビリテーションセンター  
(障害の予防とリハビリテーションに関するWHO指定研究協力センター)
- ・使用言語 日本語及び英語(日英同時通訳)、要約筆記
- ・参加費 無料
- ・問い合わせ  
国立障害者リハビリテーションセンター  
企画課 国際協力室 西村、千田  
TEL 04-2995-3100(内2148,2149) FAX 04-2995-3661  
E-mail whoclbc@rehab.go.jp (1はアルファベットLの小文字)
- ・詳細リンク先 会場地図、申し込み用紙  
<http://www.rehab.go.jp/whoclbc/japanese/seminar/seminar.html>

## プログラム

13:00 開会挨拶 中村耕三 国立障害者リハビリテーションセンター総長

13:10~13:50 基調講演

WHO西太平洋地域事務局テクニカルオフィサー Pauline Kleinitz

「障害と高齢化：WHOの見解と対応」

14:00~16:10 発表

1 韓国国立リハビリテーションセンター長 Seong Jae Lee

「韓国における高齢化および関連する障害についての現状」

2 中国リハビリテーション研究センター博愛病院

神経リハビリテーション科医長 陳立嘉

「中国における高齢脳卒中患者のリハビリテーションの現状」

- 3 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻教授 荒井 秀典  
「高齢者におけるサルコペニア、フレイルの意義」
- 4 社会福祉法人 三井記念病院整形外科部長 星地亜都司  
「高齢者に生じる頸椎障害」
- 5 公益社団法人 全国脊髄損傷者連合会 副代表理事  
特定非営利活動法人 日本せきずい基金 理事長 大濱 眞  
「脊髄損傷者の高齢期に於ける身体機能面と生活面の現状と問題」  
- 介護制度の視点から課題を検証 -
- 6 国立障害者リハビリテーションセンター  
障害者健康増進・スポーツ科学支援センター長 緒方 徹  
「健康維持からみた運動機能障害とその対応策」

16:20～17:20 会場との質疑応答、ディスカッション

パネリスト

Pauline Kleinitz

Seong Jae Lee

陳 立嘉

荒井秀典

大濱 眞

赤居正美 国立障害者リハビリテーションセンター顧問

国際医療福祉大学大学院教授

緒方 徹

17:25 閉会挨拶 飯島 節 国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局長